— 通 信 教 育 —

ペストコントロール技術者養成講座

第３４期募集案内

◆PCO に必要な内容を網羅したテキストによるカリキュラム

◆PCO にとって必要な幅広い基礎知識の習得

◆現場ですぐ役立つ応用技術の習得

◆ネズミ・衛生害虫防除における IPM を目指した技術力アップ

本養成講座の内容につきましてはこちらもご覧下さい。
講座の内容がわかり易く説明されています。
http://www.jesc.or.jp/work/training/mouse/pest1.html

主　　催

(一財)日本環境衛生センター

〒210-0828
神奈川県川崎市川崎区四谷上町 10-6

TEL：０４４－２８８－４８７８
FAX：０４４－２８８－５０１６
URL：http://www.jesc.or.jp/

(公社)日本ペストコントロール協会

〒101-0045
東京都千代田区神田鍛冶町 3-3-4
サンクス神田駅前ビル 3F

TEL：０３－５２０７－６３２１
FAX：０３－５２０７－６３２３
URL：http://www.pestcontrol.or.jp

ペストコントロール技術者養成講座のご案内

ペストコントロールとは、ネズミや害虫などの有害生物（pest）を防除（control）するという意味で、最近では、ペストマネージメント（有害生物を管理する）という用語も使われています。

現在わが国のねずみ・衛生害虫駆除行政に関しては、平成１５年４月に「建築物衛生法」（略称）関連政省令の改正が行われ、ねずみ等の防除における生息状況調査の導入等が図られました。また、平成１５年１１月に「感染症法」（略称）の一部改正が施行され、対象疾病及び疾病分類の見直し等が行われたというように、大きな変化が到来しています。特に、平常時におけるねずみ・衛生害虫防除対策は国から市町村に委譲されたことから、各市町村は独自のシステム作りをして、住民対応を進めていると思われますが、ビル街におけるゴキブリやネズミの多発、一般住宅での屋内塵性ダニやネズミ、あるいは有害・不快害虫による被害など、害虫・害獣類による問題が年々増加する傾向を示しております。特に、最近では、マダニによる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）やヒトスジシマカによるデング熱の発生が大きな社会問題となっています。また、国際的観点に立てば、米国でのウエストナイル熱や世界的に報告のある鳥インフルエンザの発生など、ネズミ・衛生害虫が関与する、あるいは関与が疑われている感染症が問題となっています。

このような状況のもとに、衛生的で快適な居住環境を確保するための一翼を担うペストコントロール作業従事者に対しては、住民の害虫獣による健康被害の予防並びに軽減にその期待が高まるばかりであり、この期待に応えるため、作業従事者の一層の技術の研鑽が望まれています。

(一財)日本環境衛生センターと(公社)日本ペストコントロール協会は、ペストコントロール作業従事者の技術力向上を目指して、ネズミ・衛生害虫防除に関する基礎知識から周辺領域までの最新の情報を網羅した本講座を昭和６１年よりこれまで３３期開催し、本講座（１級）修了者は既に 1,250 名に達しております。今日、本講座の修了証を得ることはペストコントロール作業従事者の必須要件とも言えると思います。なお、第１７期からは(公社)日本ペストコントロール協会の技術者認証制度（１、２、３級）と連動した受講制度に改めております。

今年度も引き続き本講座（第３４期）を平成２７年１１月より開講いたします。本講座では本案内の「学習の進め方」にもありますように、短期の講習では習得しきれない内容を６～８か月に渡ってじっくりと学習していただけるようにカリキュラムが組まれています。募集要項をご一読の上、この機会に是非多数の方がご応募下さるようご案内申し上げます。

募　集　要　項

◆受講対象者

◎現在 PCO 業務に従事されている方

◎自治体等のそ昆駆除行政担当者

◎殺虫・殺鼠剤メーカーの担当者

◎ネズミ・衛生害虫駆除に関心のある方など

◆受講資格　　学歴、年齢、性別、職業、経験等一切を問いません。

◆受講コースと期間

＜１級コース＞ PCO 技術管理者レベル	PCO 技術管理者として、必要とされる広範な基礎知識と高度な技術力を養成するとともに、管理能力を養成することを目的とするコース 平成 27 年 11 月～平成 28 年 6 月(予定)：8 か月
＜２級コース＞ PCO 技術監督者レベル	PCO 技術監督者の養成を目的として、基礎知識を習得するとともに技術や応用技術を学習するコース 平成 27 年 11 月～平成 28 年 4 月(予定)：6 か月
＜３級コース＞ PCO 作業従事者レベル	PCO 作業従事者として必要な基礎知識の習得と技能の養成を目的とするコース 平成 27 年 11 月～平成 28 年 4 月(予定)：6 か月

※各コースの内容については、5 頁の別表をご参照下さい。

◆受講料（消費税込み）　１級コース：１３４，２００円

２級コース：　８３，２００円

３級コース：　５９，８００円

上記受講料は各級コースの修了に必要な指定課目すべてを受講する場合の金額です。テキスト等の教材費や添削指導料を含んでいます。代替認定科目（別表：◎、●印分）を受講しない場合は、その科目分の受講料（１科目につき 7,800 円、スクーリングは 12,000 円）が減額されます。

◆募集定員

・１級コース：定員１００名

・２・３級コース：定員各５０名

定員は新規および再受講を含めた人数で、締め切り日以前でも定員になり次第締め切ることがありますので、お早めにお申し込み下さい。

◆申込方法

下記書類を**協会事務局宛**に送付して下さい。

【初めて１級を受講される方】

・受講申込書

・写真１枚（縦４㎝、横３㎝：裏面に氏名記入）

【１級再受講の方および２・３級を受講される方】

・受講申込書

注：既に２級または３級を取得されている方は、必ずその旨を受講申込書に明記して下さい。

◆受付締切日　　**平成２７年９月２５日（金）必着**

◆お振込先　注：下記金融機関以外へのお振込は受け付けておりません。

ゆうちょ銀行振替口座	
口座番号	00100-4-78649
口座名義	ﾍﾟｽﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ技術者通信教育事務局

ゆうちょ銀行口座	
銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関ｺｰﾄﾞ	9900
店番	019
預金種目	当座
店名	〇一九店(ｾﾞﾛｲﾁｷｭｳ店)
口座番号	0078649
ｶﾅ氏名（受取人名）	ﾍﾟｽﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｷﾞｼﾞｭﾂｼﾔﾂｳｼﾝｷｮｳｲｸｼﾞﾑｷｮｸ

※申込書を受領後、受講料のご案内を致しますので、それまではお振込みをしないで下さい。

◆事務局

①センター事務局

[業務内容]学習や添削の内容など技術的な問合せ

添削問題・総合レポート送付先

〒210-0828　神奈川県川崎市川崎区四谷上町１０－６

（一財）日本環境衛生センター環境生物・住環境部内通信教育事務局

TEL：044-288-4878　FAX：044-288-5016　　担当：皆川、永廣

②協会事務局

[業務内容]本講座の受講申込受付、テキストの発送等

ペストコントロール技術者認証制度に関するお問合せ

〒101-0045　東京都千代田区神田鍛冶町３－３－４サンクス神田駅前ビル３F

（公社）日本ペストコントロール協会内通信教育事務局

TEL：03-5207-6321　FAX：03-5207-6323　　担当：高野

ペストコントロール技術者養成講座に関するＱ＆Ａ

ペストコントロール技術者養成講座（以下「通信教育」という）について、よく寄せられるご質問及び回答を記載しました。

Ｑ１：１～３級に分かれていますが、３級から順に受けなくてはならないのですか？

Ａ：受講コースは、何級からでも受講可能です。級が上がるほど提出する添削問題の科目数も多くなりますので、ご自分のペースに合わせコースを選択して下さい。

Ｑ２：いつからでも申込できますか？

Ａ：１１月に開講し、カリキュラムに沿って配本および添削問題の送付を行っているため、会期途中の受講申し込みはできません。

Ｑ３：過去に受講したことがあるのですが、受講料の免除はありますか？

Ａ：受講されたコースを修了されている場合は、その級が確定しています。上級コースを受講する際は、確定している級の必須科目分を受講料より免除いたします。

≪受講料詳細≫

スクーリングを除く単元Ⅰ～Ⅶの各科目及び総合レポートは１科目につき：¥7,800

スクーリング：¥12,000

初回登録料：¥5,200　※初回受講時のみ

（例）既に３級コースを修了しており、次に２級コースを受講する場合の受講料

⇒科目数の差は3科目のため@7,800×3科目＝23,400円となります。

Ｑ４：配本及び添削問題提出のペースは？

Ａ：受講コースにもよりますが、各単元のテキストを月１回（２科目分）送付し、科目ごとに決められた期日までに添削問題を提出していただきます。

【配本目安（例）】

単元Ⅰ：１０月末までにお手元に届くよう配本

【添削問題提出期限（例）】

単元Ⅰ科目(1)：１１月中旬締切

単元Ⅰ科目(2)：１１月下旬締切

期日までに提出がない場合は減点の対象となります。

詳細は受講開始時にお送りする予定表をご確認下さい。

なお、スクーリングは毎年５月頃に（一財）日本環境衛生センター（川崎市）で２日間の日程で行われており、該当者には詳細なご案内を（一財）日本環境衛生センターよりお送りいたします。

総合レポートは、各自テーマを決め毎年６月末までに提出していただきます。

Ｑ５：免除科目の配本はありますか？

Ａ：免除科目については、配本及び添削問題の送付はありません。

Ｑ６：受講級を変更することはできますか？

Ａ：期の途中で変更することはできませんが、再受講申込の際にお申し出いただければ可能です。詳しくは協会事務局へお問い合わせ下さい。

Ｑ７：１級コースの総合レポートはいつ提出すればよいですか？

Ａ：６月末が提出締切ですので、受講開始後はいつ提出をしていただいても結構です（ただし提出は１回のみ）。受講開始から締切までの期間が長いため後回しになってしまい、締切までに提出するのを忘れてしまう方が多くいらっしゃいます。予定を立てて作成に取り掛かって下さい。詳しくは受講開始時に配布される資料等をご覧下さい。

Ｑ８：受講免除を適用するにはどうしたらよいですか？

Ａ：「＜別表＞各コース履修単元・科目および章（学習内容）」に記載されている資格をお持ちの方は、受講科目および費用の一部が免除となります。適用するには下記の点にご注意下さい。

①資格の期限が有効であること

②証明書類の写しの添付があること（受講申込時に添付）

学 習 の 進 め 方

１．各コースの内容

１級コース

テキストによる８カ月の通信授業＜７単元１４科目＞

スクーリング（実習）＜１科目＞

総合レポート＜１科目＞　　（計１６科目）

２級コース

テキストによる６カ月の通信授業＜６単元１０科目＞

３級コース

テキストによる６カ月の通信授業＜６単元７科目＞

２．学習の要領

１）通信授業は、別表に示すような単元・科目・章に分かれ、各コースに対応したテキストが配本されます。なお、配本ペースは、コースにより異なりますので時期については別表の配本目安をご覧下さい。

２）１カ月に１単元２科目を学習する場合は、テキストは２冊配本され、１日約６ページを学習の目安として、１カ月に２０日間学習するよう構成されています。

３）テキスト１冊（１分冊）を１科目として学習し、科目ごとに５題の問題が課せられます。提出期限内に答案を提出することにより、採点と添削指導を受けることが出来ます。科目の合格には、科目ごとの５題の合計点が合格基準点以上となることが必要です。

４）１級コース受講者の必修科目であるスクーリング（実技実習）は２日間の日程で、（一財）日本環境衛生センター（神奈川県川崎市）において、３０名程度の小クラス編成により、きめ細やかな指導が行われます。

５）受講コースに沿った添削問題の解答、スクーリングの受講、総合レポートを提出し、合格するとそれぞれの級の修了証が発行されます。なお、必要科目全てに合格できなかった場合、合格した科目は、次期以降２期まで有効となりますが、連続した３期の間に受講コースに必要な科目に合格できなかった場合は、再度新規で受講しなくてはなりません。

６）受講コースは不合格であっても、下級コースに合格している場合もあります。その場合、センター事務局へ申請をすることにより、合格している下級コースの修了証を受け取ることが出来ます。

＜別表＞各コース履修単元・科目および章（学習内容）

単元	分冊科目	章（学習内容）	各ｺｰｽの受講必須科目 1級	2級	3級	配本目安
＜単元Ⅰ＞ PCOのための 行政・一般教養学	(1)	1 ﾍﾟｽﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ序説 2 環境衛生行政概論	◎	◎	◎	10月末
	(2)	1 生物学 2 化学 3 英語	○	―	―	
＜単元Ⅱ＞ 基礎有害生物学	(1)	1 衛生害虫 2 ダニ 3 ネズミ	◎	◎	◎	11月末
	(2)	1 その他の有害動物 2 木材・樹木害虫 3 雑草 4 微生物	○	○	―	
＜単元Ⅲ＞ 薬剤学	(1)	1 殺虫剤・忌避剤 2 殺鼠剤・忌避剤 3 共力剤・補助剤	◎	◎	◎	12月末
	(2)	1 毒性・安全性 2 防除機器	◎	◎	◎	
＜単元Ⅳ＞ ＰＣＯ実務	(1)	1 作業管理 2 安全管理 3 建築構造･建築設備	◎	◎	◎	1月末
	(2)	1 情報管理 2 有害生物調査法 3 データの取扱い	○	―	―	
＜単元Ⅴ＞ 応用有害生物学Ⅰ	(1)	1 被害論 2 有害生物防除論 3 建築物内での施工管理(1) （総論、ｵﾌｨｽﾋﾞﾙ、 食品関連施設、旅館）	◎	◎	◎	2月末
	(2)	1 建築物内での施工管理(2) （病院、工場等、住宅） 広域防除	○	○	―	
＜単元Ⅵ＞ 応用有害生物学Ⅱ	(1)	1 衛生害虫の防除 2 ダニの防除 3 ネズミの防除	◎	◎	◎	3月末
	(2)	1 その他有害動物の防除 2 木材・樹木害虫の防除 3 雑草の防除 4 微生物の防除	○	○	―	
＜単元Ⅶ＞ 管理者のための知識	(1)	1 ﾍﾟｽﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ経営総論 2 管理者心得	○	―	―	4月末
	(2)	1 環境学総論 2 周辺関連法規	○	―	―	
スクーリング		（実技実習）	●	―	―	
総合レポート			○	―	―	

上記に示した各コースを修了（合格）後、（公社）日本ペストコントロール協会の認証条件を満たし別途申請により審査に合格すると､ペストコントロール技術者として認証する制度があります（詳細につきましては同協会のホームページ等をご参照下さい）。

なお､本講座以外で下記の資格を取得している場合は本講座の該当科目の受講が免除されます。

丸印（○、◎、●）は、各級コースの指定科目を示す。ただし、

○：代替を認めない受講必須科目

◎：「建築物衛生法」に基づく「防除作業監督者」の有効な資格をお持ちの方、または(公社)日本ペストコントロール協会が行う技術者認証制度において「ペストコントロール３級技術者」として有効な資格をお持ちの方に対して受講を免除する科目。

●：(一財)日本環境衛生センターが行うペストロジー実習講座または日本家屋害虫学会が行っていた「昆虫同定等の実技講習」を修了された方に対して受講免除を認定する科目。

―：受講不要の科目。

テキスト執筆者・講師一覧（50 音順）

青木　　皐	(株)コントロール・ラボ
伊藤　靖忠	(財)日本環境衛生センター
緒方　一喜	(財)日本環境衛生センター
片野鍾太郎	日本まちづくり総合研究所
木村　　宏	ＫＤＳ環境経営研究所
新庄　五朗	(財)日本環境衛生センター
須藤　千春	中部大学応用生物学部
高鳥　浩介	国立医薬品食品衛生研究所
高安　知彦	(社)日本ペストコントロール協会
竹内　安智	宇都宮大学雑草科学研究センター
谷川　　力	イカリ消毒(株)技術研究所
橋本　知幸	(財)日本環境衛生センター
林　　晃史	東京医科歯科大学医学部
平尾　素一	(社)日本ペストコントロール協会
降矢　　強	国立医薬品食品衛生研究所
紅谷　一郎	(社)日本ペストコントロール協会
水谷　　澄	(財)日本環境衛生センター
皆川　恵子	(財)日本環境衛生センター
武藤　敦彦	(財)日本環境衛生センター
元木　　貢	(社)日本ペストコントロール協会
安富　和男	国立予防衛生研究所
矢部　辰男	ラットコントロール・コンサルティング
和田　義人	長崎大学医学部

※上記所属は執筆当時

教務委員会の構成

委員長：武藤敦彦＜(一財)日本環境衛生センター＞
委　員：葛西真治＜国立感染症研究所＞
金山彰宏＜元横浜市衛生研究所＞
平尾素一＜(公社)日本ペストコントロール協会＞
橋本知幸＜(一財)日本環境衛生センター＞
茂手木眞司＜(公社)日本ペストコントロール協会＞

受講番号	

第３４期技術者養成講座受講申込書

第３４期ペストコントロール技術者養成講座を受講致します。

平成２７年　　月　　日

受講希望級	１級コース　　２級コース　　３級コース	
ふりがな		生年月日（西暦）
受講者名		年　　月　　日
勤務先	勤務先名 所属部署	
	住所　〒 TEL　　FAX Eﾒｰﾙ　　@	
自宅住所	〒 TEL	
テキスト等の送付先	勤務先　　自宅	
受講免除の希望の有無： （受講免除資格）	１．建築物衛生法による防除作業監督者資格認定取得 ２．日本環境衛生センターが行う「ペストロジー実習講座」の修了または日本家屋害虫学会が行っていた「昆虫同定等の実技講習」を修了された方 **＊受講免除を希望される方は該当する資格に〇印を付け、その証明書の写しを添付して下さい**	
※既に取得している級がある場合は、下記の級に〇印を付けて下さい。		
２級　取得受講期（第　　期）	３級　取得受講期（第　　期）	
過去に受講歴のある方は有に〇印を付けて下さい。　受講歴：　有		

注）受講番号及び事務局使用欄は事務局にて記入いたします。それ以外の空欄に必要事項を記入して下さい。

※上記の情報は本通信教育に係る受講の手続きやテキストの発送等及びペストコントロール技術者認証制度ご案内という用途以外には使用いたしません。

事務局使用欄

履修科目				
１	２	３	４	５
６	７	８	９	１０
１１	１２	１３	１４	１６
１５：スクーリング				

同定免除　□　　同定修了　□　　写真添付□

２級取得　□　　３級取得　□　　監督者　□

※有効期限（　　）期まで

@7,800×（　　）科目＝

@12,000＝

@5,200＝

合計：￥